

●●● 令和2・3年度幹事紹介 ●●●

辻岡 奈々 (令和2年度幹事)

高校を卒業し、大学に入学してから1年以上が経ちました。現在は、養護教諭を目指して勉学に励んでいます。今までお世話になった先生方のように、優しく温かく、時には厳しく生徒に接し、また、様々な視点から生徒と関わり、信頼される教師になりたいと思います。

在学中はクラスで代議委員を務め、様々な行事に取り組むことで、仲間と協力することの楽しさや難しさを経験することができました。部活動は吹奏楽部に所属し、音楽を通して努力する大切さを知り、困難にぶつかっても乗り越える力を身につけ、音楽の楽しさ、素晴らしさを改めて実感しました。

私にとっての高校3年間は、たくさんの方々のお陰で成長することができ、さらに、夢に近づくことができ、本当に充実していました。私はこれからも「感恩」の精神を決して忘れず、何事にも頑張っていく覚悟です。

最後になりましたが、母校の益々の発展と、先生方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



鈴木 悠太 (令和3年度幹事)

初めまして、じゃない方もいらっしゃると思いますが、あらためてご挨拶させていただきます。

初めまして、この度藤蔭会幹事長を務めさせて頂くことになりました鈴木です。

藤蔭会を通してたくさんの方々との出会いと貴重な経験ができることを楽しみにしています。とてもとても心身ともに未熟な私ですが、何事にも全力で頑張ります。よろしく申し上げます



令和2年度藤蔭会幹事一覧 (各クラス2名)

組	名前	
1	浅井 公平	中園 杏奈
2	辻岡 奈々	山上 優心
3	石本 舞希	中西 秀斗
4	飯田 莉磨	松原 鈴奈
5	西野 一太	眞砂 美月
6	豊田 琴弥	西口 遥稀
7	音田 直斗	福井 秋花
8	井上亜衣子	中下 勝輝
9	倉内 琉生	山田 梨楓
10	森田 愛由	藪内 綺乃
11	坂村 優奈	西谷 光平

令和3年度藤蔭会幹事一覧 (各クラス2名)

組	名前	
1	川嵩 実咲	山本 重親
2	相園 望直	鈴木 悠太
3	中原 拓海	平岡 歩
4	佐々木玲奈	室坂 翔太
5	辻 琴海	匹田 海大
6	松井 翔風	松本 芽依
7	辻 陸人	波多久瑠実
8	片岡 侑俊	郷田あかり
9	河内 光瑠	小西 慶吾
10	中橋 諒	鷺崎 明音
11	南 美咲	米田 隼大

卒業生からのメッセージ

平成27年度 進学コース卒 山下 将司

現在、私はコマーシャル関連の写真・映像・CG関連を製作する会社でスタジオマンをしております。非常に充実した日々を過ごさせて頂いております。

実は、私の高校入学当時の進路は全く現在とは違う道でした。写真部に在籍していたおかげで、顧問の先生から、大阪芸術大学写真学科の存在を教えていただき、現在の道が開けました。当時、思い描いた進路への不安から、新たな選択肢を見つけることができたのは、クラブ活動のおかげです。夢を抱いた高校生活は、当初の予定とは違ったものの、私にとってはとても有意義で、重要な日々であったと感じています。

最後になりますが、母校をはじめ、皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

平成8年 総合進学コース卒 川村 幸代 (旧姓 一柳)

現在の私は、介護福祉士として、介護施設で働いております。高校生活での思い出は色々ありますが、体育祭の集団行動で、指揮をさせて頂いた事はとてもよく覚えています。

あの頃の私にはとても大きな出来事でしたが、皆と協力し成功した時の達成感は今も心の底に残っています。周囲とコミュニケーションをとる事の大切さ、相手を思い自ら考え行動する力を教えて頂きました。昨年の春から、娘も同じ学び舎でお世話になっております。きっと素晴らしい思い出を手に入れてくれることでしょう。

最後になりましたが、母校の益々の発展を心よりお祈りいたしております。

平成25年度卒業 特別進学Ⅱコース 福山 司



私は今、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで正社員として勤務しています。

思い返せば、私がエンターテインメントの世界に入るきっかけをくれたのは高校生の頃です。振り返れば、成績も芳しくなく相当手を焼かしてしまったにも関わらず優しく接して下さった先生方、青春の思い出を語り合ったクラスメイト、共に汗や涙を流したハンドボール部のチームメイトたち。そんな恵まれた人間関係の中で過ごした高校生活で私は、「自分は周りの人を笑顔する力がある」と気付きました。

その力を活かすべく選んだ今の職場は、私にとっての天職と言えるでしょう。4月からは新しい仕事にも挑戦できるようになりました。ゲストだけでなく従業員も含めて周りの人たちの笑顔をたくさん生み出して行く。立場や現場は変われど、私の持つゴールは変わりません。

コロナ禍ではありますが、エンターテインメントの力を信じ、さらに多くの笑顔を生み出したいと思います。

最後になりますが、母校の益々のご発展をお祈りしています。